

1, 活動日時：2024年4月4日9時00分～14時00分

早朝雨後曇り

2, 活動場所：兵庫県立明石公園

3, 活動人員：桜守ボランティア（須賀他5名）

樹木医（藤原）

明石公園管理課（西村）

4, 活動内容

① ソメイヨシノの開花調査

花はまだ1～2部咲き程度で少なかった。

② ソメイヨシノの危険木・枝の除去・断面の殺菌処理

なお、高枝、太い枝の処理は、専門業者が対応



枯れ枝及びキノコ着生枝を切除し、  
切除部をトップジン等で殺菌処理し  
たが、心材腐朽し空洞化した部分に  
ついては要検討



枝折れ部を切除し、殺菌処理が  
必要



テングス病が発生しているため、切除を検討



支柱に巻きつけた紐が桜に食い込みが見られたため、紐を外した。

### ③ 今後の桜の維持管理について

- 土壌 PH が低い傾向にあるため、特に低いところは、石灰と肥料を混ぜる等土壌改良の検討を行うとともに割竹埋設法等による土壌改良を推進する必要がある。
- ソメイヨシノの寿命に近く老木化しているものは、簡易剪定治療での回復を図る。しかし、危険木化しているものについては、伐採して、補植する。
- 日陰になっているソメイヨシノは、周辺とのバランスを取り、周辺樹木の剪定等により、日当たりの改善を図る。胴吹き、ヒコバエ等については、日当たりを考えて検討する。
- 補植及び新期に植栽する場合は、土壌硬度（山中式土壌硬度 22mm 以下）に留意し、土層が 50cm 以下では、植栽を避ける又は、盛土して 50 c m以上する。なお、植栽間隔は 6m 以上とする。常緑広葉樹に接する場合は 8m 以上離す必要がある。